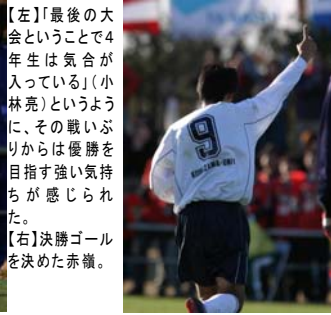


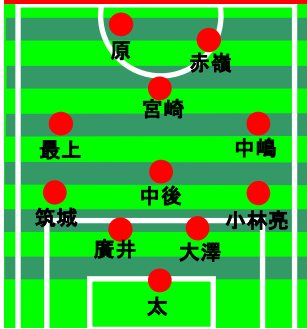
安定した守りをみせた大澤。90分間の集中力が完結勝利をよび寄せた。



【左】最後の大会ということで4年生は気合が入っている(小林亮)というように、その戦いぶりからは優勝を目指す強い気持ちを感じられた。

【右】決勝ゴールを決めた赤嶺。

基本フォーメーション

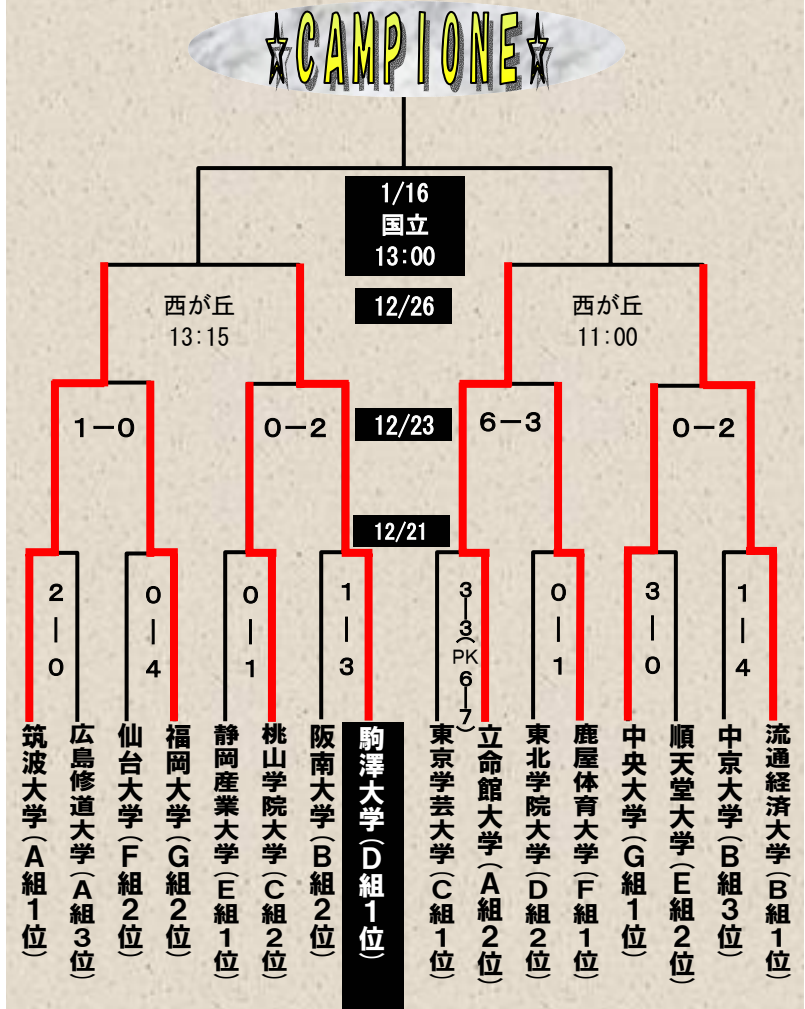


MOM 廣井友信



相手のクロスを再三頭で跳ね返し、身体を張った守りをみせ、完封勝利に大きく貢献した。

インカレ決勝トーナメント組み合わせ



12月23日 13:15 埼玉スタジアム2002 第2グラウンド

駒大 2(1-0)0 桃学大

(関東第3) (関西第1)

得点者(アシスト)

[駒] 28分: 宮崎大志郎 1(赤嶺真吾 2)
[駒] 88分: 赤嶺真吾 3(中後雅喜 2)

KOMAZAWA

- GK 太 洋一(4)
- DF 小林 亮(4)
- DF 大澤 陽介(4)
- DF 廣井友信(2)
- DF 筑城和人(2)
- MF 中後雅喜(4)
- MF 中嶋祐太(4)
- MF 最上大輝(3)
- (83分) 小野里銀児(1)
- MF 宮崎大志郎(3)
- (72分) 菊地光将(1)
- FW 赤嶺真吾(3)
- FW 原 一樹(2)

MOMOYAMA

- GK 田中慎太郎(3)
- DF 重光貴葵(3)
- DF 木村允彦(2)
- DF 江添建次郎(4)
- DF 梶原寛人(2)
- (75分) 池田昌弘(1)
- MF 柳田俊介(4)
- (50分) 榎田 啓(4)
- MF 井上久司(3)
- MF 大西康平(4)
- MF 姜 鉉守(2)
- FW 森 祐生(4)
- FW 東条 卓(3)
- (45分) 田内康介(2)

S U B

- GK 牧野利昭(3)
- DF 塚本泰史(1)
- DF 石井晃一(3)
- MF 関 光博(4)
- FW 巻 佑樹(2)

S U B

- GK 川井浩平(4)
- DF 南 優孝(4)
- MF 金光栄大(1)
- MF 奥田 智(2)

MANAGER

秋田浩一

MANAGER

高 成度

警告(C)/退場(S)

[駒] 39分: 最上大輝(C)
[桃] 52分: 榎田 啓(C), 58分: 江添建次郎

[シュート] 5:12[CK] 11:14[CK] 1:1[PK] 0:0[直接FK] 22:23
[間接FK] 1:3[OS] 0:3[主審] 鍋島将紀[観衆] 約450人

※上記データは全て左側の数字が駒澤

決勝トーナメント回戦ハイライト



この試合、1ゴールアシストと好調ぶりをみせた原。優勝を目指す駒大にとって、原の活躍が必要不可欠である。

風を制し 得た勝利!!

2004年12月21日 13:15 アミノバイタルフィールド

駒澤大学 3 - 1 阪南大学

得点(アシスト) = 29分: 赤嶺 2(小林亮 1)、41分: 大西(安部)、62分: 鈴木亮 2(原 1)、88分: 原 5(中後 1)

駒澤大学 ● GK 太洋一 / DF 小林亮、廣井友信、桑原靖、筑城和人 / MF 中後雅喜、中嶋祐太、宮崎大志郎(76分巻佑樹)、鈴木亮平(87分最上大輝) / FW 赤嶺真吾、原一樹
阪南大学 ● GK 山口夏希 / DF 旗手真也(80分田尻元氣)、深谷友基、寄井憲、伊野波雅彦 / MF 大西容平、松岡亮輔(84分松浦敦史)、畑野伸和(68分廣瀬浩二)、大杉誠人 / FW 安部雄二郎、外山正人

[シュート] 13:7[GK] 14:15[CK] 4:1[PK] 0:0[直接FK] 17:17
[間接FK] 2:3[OS] 1:1[主審] 砂川恵一[観衆] 約400人

COMMENT

会場には06の巻が!

巻 一 郎 (市原)
「前半は風下でなかなか思うようなサッカーが出来なかったと思うが、速いサッカーをしていたのでそれがちゃんと前半の功効いて、後半駒大らしいサッカーが出来たのかなという風に見えた。選手個人個人の良い所がたいふ出せるようなチームになってきたかなと思って見ていた。是非、優勝してまた一つも多くのタイトル獲ってやれば良いと思う。応援してます!!」

中田 洋 介 (仙台)

「90分間通して秋田監督の目指すサッカーを徹底してやれないと優勝というのは難しいと思うので、90分間それが徹底してやれば勝てると思う。このインカレにみんなまっかけてると思うので、是非優勝してほしいと思います。」

強風のなか行われたこの試合。前半、風下の駒大は劣勢に立たされるものの、29分に小林亮のクロスに赤嶺が頭で合わせて先制。しかし、41分ロングスローから阪南大・大西に同点ゴールを許す。後半、エンドが変わり風上に立った駒大が終始試合を支配する。62分、左サイドを突破した原のマイナスのクロスで鈴木亮が決めて突き放すと、88分には原がGKをかわしダメ押し点をあげ、準々決勝進出を決めた。「勝つことが大事だった」(中後)と語るように、トーナメントは勝利が最優先となる。大臣杯を制し、その勝ち方を知っている駒大。試合巧者ぶりを発揮し優勝を掴んでほしい。(関 翔一)